

熊本地震災害の復旧・復興事業の推進について

一般社団法人熊本県建設業協会

昨年4月の震災からこれまでの間、熊本地震からの復旧・復興工事が「オール熊本」での体制で円滑に実施できるよう、国及び熊本県におかれましては、本「情報連絡会議」の立ち上げを皮切りに、被災地における適正な予定価格の設定のための復興歩掛・復興係数の設定や入札制度の見直しによる復興工事の円滑化対策等を数次にわたり実施して頂きましたことに感謝申し上げます。

更に本年11月からは、復興・復旧工事の加速を図るため、国土交通省による阿蘇・上益城地域の「復興係数」の引上げや熊本県への技術指導等の支援行われるとともに、県による市町村の支援を強化等、発注機関一体となって、取り組んで頂きますことに重ねて感謝いたします。

平成29年度も下半期に入り、被災地域においては、復興・復旧工事も昨年からの繰越工事を中心に現場が稼働し始め、本年度復興・復旧工事の本格的発注が行われていますが、被災地外における通常予算の工事の発注と相まって、被災地域における下請事業者や建設労働者、交通誘導員等の不足が顕在化しつつあります。

先に熊日新聞で熊本地震の復旧工事を巡り、業者間で下請代金の未払いや遅延が発生しているとの記事が掲載されました。主に公費解体に係る下請が大部分のようですが、建設業協会としても、別添通知により、下請を含む施工体制の十分な確保、安全管理等の徹底及び通常取引が無い事業者との契約における書面契約の徹底について会員に周知したところです。

地域建設業として使命感をもち、復旧・復興工事の受注の積極的に対応していくこととしておりますが、過去に経験したことのない復旧事業費の円滑な受注を行っていくには、専門事業者や下請業者の確保が不可欠になります。下記事項について、発注機関に特段のご配慮頂きますようお願いいたします。

1 発注時における専門事業者の需給状況のヒヤリングについて

年度の後半期に入り、国・県・市町村の発注が重なり、専門業者を必要とする工事においては、その確保が困難になり不調の原因になります。発注機関においても、現場の施工を担う専門事業者の需給動向等のヒヤリングを実

施して頂き、併せて発注の平準化も検討いただきたい。

2 発注の優先順位の一層の徹底について

昨年からの繰越工事が本格稼働するなかで、重複発注が行われ、着手待ちの状況が発生しないよう、現場の進捗状況を踏まえた発注をお願いしたい。